

令和7年5月吉日

南北野町内会 会員各位

南北野町内会

会長 渡邊 真弓

保健福祉部長 大巻 一雄

日赤共同募金（日赤社費・寄付金）のご協力について（お願い）

新緑の候、皆様におかれましては、日々ご健勝にお過ごしのことと存じます。
日頃から、当町内会活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も昨年同様、日本赤十字社札幌地区本部より、募金協力の依頼がありました。

日本赤十字社は、万一の自然災害に備え医療救護班の訓練や、被害を受けた方々への救援物資の配布、義援金等の募集活動、防災・減災の普及啓発やボランティアの育成などの活動に取り組んでおります。添付のチラシに目を通していただき、是非ともご協力の程よろしく
お願い申し上げます。

・募金については、班ごとに取りまとめをお願い致します。

・個人で募金される方は、班長宅へお届けください。

尚、募金目標は1世帯：200円となっておりますが、強制ではなく、皆様の実情に応じてご協力をお願い致します。

赤十字は、 動いている！

赤十字は、最前線に立つ人、それを背後で支える人、そして何よりも、活動を寄付で支援して下さる人、関わるすべてのみなさん一人ひとりと動き続けています。人間のいのちと健康、尊厳が守られる世界を信じて。これまでも。これからも、ずっと。



令和7年度



日本赤十字社 北海道支部
Japanese Red Cross Society



日本赤十字社公式キャラクター
「ハートラちゃん」

こんにちは、日本赤十字社 北海道支部です。

私たち日本赤十字社は、災害時の救護活動などを行う民間の法人です。
その活動は、国などからの補助金ではなく、

皆さまからの寄付に支えられています。

5つの主な活動内容

皆さまからのご支援のもとに、日本赤十字社北海道支部は人の『いのちと健康、尊厳を守る』人道的な活動を、道内各地、全国都道府県、そして世界中で行っています。



1 災害救護活動 手を差し伸べ、命を守る 赤十字社の使命

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命とし、今日まで救護活動を社業の柱として展開してきました。令和6年元日に発生した「能登半島地震」では、救護班（医師1名、看護師3名、事務職員等2名で構成される医療チーム）の派遣や救援物資の配布など、さまざまな救護活動を行い、道内からも全10力所の赤十字病院から救護班19班を能登地方へ派遣しました。

また、平時から訓練や研修を実施し、資器材を整備するなど、万一の災害発生時に迅速に対応できるよう備えています。



2 国際活動

世界を超える、支援の輪



190を超える国と地域に広がる赤十字のネットワークを活かし、紛争や自然災害、感染症等で苦しむ世界中の人々を救うため、救援活動や開発協力などを行っています。



3 救急法などの普及

備えることで、命を救う



心肺蘇生やAEDの使用方法、高齢者支援に役立つ介護技術、子どもの事故防止と応急手当など、緊急時の手当てや事故防止等に必要な知識と技術を伝える各種講習会を開催しています。



4 赤十字ボランティア 困難に寄り添い、助け合う



赤十字の使命である「苦しんでいる人、困っている人の役に立ちたい」という思いを持つ各赤十字ボランティアにより、地域のニーズに応じたさまざまな活動を各地で実施しています。



5 青少年赤十字

こころを育み、未来をつくる



次代を担う子どもたちに、さまざまな実践を通じて「いのちを大切に、相手を思いやる」こころと「気づき、考え、実行する」力を育む活動を、学校の教育現場を中心に実施しています。



**町内会や会社、
学校で赤十字を活用ください。**

「自助」・「共助」とよく聞かすが何をしたらよいか分からない、どこに相談してよいか分からない、そんな時は赤十字をご活用ください。

令和5年度 活動資金の使途

令和5年度、活動資金として

606,899,619円の

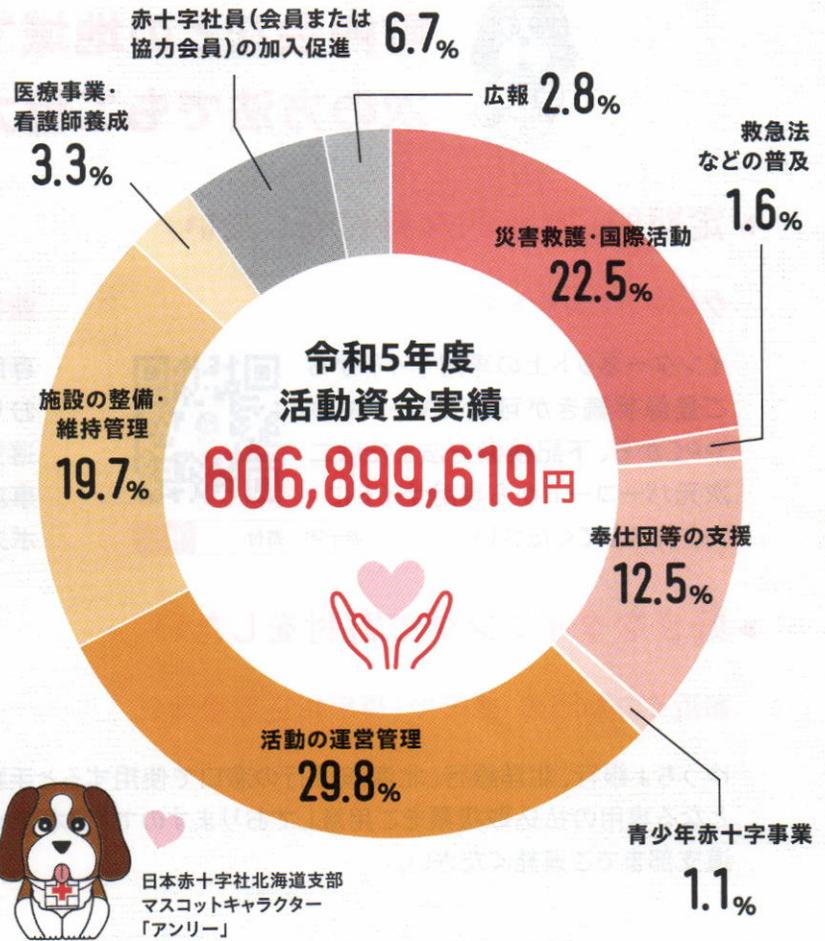
ご協力をいただきました。

ご協力いただいた活動資金をもとに、災害救護活動や救急法等の普及、ボランティア活動の支援など、いのちと健康を守る活動を行うことができました。

※令和6年度の使途については、決算が確定する令和7年6月頃にホームページ等で報告いたします。

<活動の運営管理とは>

赤十字はボランティアが中心となって活動していますが、事業が円滑に進むよう専任の職員がボランティアとの調整や救援物資・資材の調達、訓練や講習会をはじめとする事業の企画・立案・調整・報告などを行っています。運営管理費には、これら職員の人件費や諸税などが含まれています。



日本赤十字社北海道支部
マスコットキャラクター
「アンリー」

皆さまのご協力に感謝申し上げます

皆さまのご寄付でできること

被災地での救護活動、救援物資の備蓄などは皆さまのご支援により支えられています。

たとえば 2,000円のご寄付で

毛布 (1枚分)

災害により自宅に被害が生じ、避難所への避難を余儀なくされた方にお配りする毛布を1枚備えることができます。



たとえば 10,000円のご寄付で

緊急セット (2セット分)

災害発生直後からの避難所生活の際に必要な日用品等の一式が収納された「緊急セット」(1セット1世帯(4人)分)を備えることができます。



本年もご支援賜りますよう、
よろしく願いいたします。



防災・減災の考え方や
知識・技術を知りたい

AEDの使い方や
けがの手当ての方法を知りたい

高齢者の支援・自立に役立つ
介護技術を知りたい

ノウハウを持った職員、ボランティアが
皆さまのところに伺います。

お問い合わせ

011-231-7126



町内会などの地域でのご寄付のほか、 次の方法でもご協力いただけます

▶ 定期的・継続的な寄付をしたい

クレジットカードで

インターネット上の専用サイトからご登録手続きが可能です。スマホやPCから、下記検索方法または二次元バーコードから専用サイトにアクセスしてください。



赤十字 寄付 検索

銀行口座からの引き落としで

専用の口座振替申込書を用意しておりますので、日本赤十字社北海道支部までご連絡いただき、必要事項を記入のうえ、ポストに投函してください。



▶ 好きなタイミングで寄付をしたい

お近くの郵便局、銀行で(専用払込取扱票)

ゆうちょ銀行、北洋銀行、北海道銀行の窓口で使用すると手数料が免除となる専用の払込取扱票をご用意しておりますので、日本赤十字社北海道支部までご連絡ください。



札幌市民の皆さまへ

日本赤十字社の活動は、市民の皆さまからお寄せいただいた活動資金によって支えられております。災害時には医療支援や毛布などの救援物資の調達や配布、平常時には水難事故から身を守るための体験会や赤十字安全法の講習の普及、また各赤十字奉仕団(13団体)の奉仕活動や育成などに役立てられています。今後とも赤十字の活動資金にご支援・ご協力をお願いいたします。

札幌市地区本部 令和6年度社資実績額

87,419,011円

(令和6年12月末現在)



親子で学ぶ水難事故から身を守るための体験会
(札幌市水上安全赤十字奉仕団)

お問い合わせ

- 日本赤十字社札幌市地区本部 011-211-3339
- 各区役所地域振興課まちづくり推進係

中央区 011-205-3221	白石区 011-861-2422	清田区 011-889-2024	西区 011-641-6926
北区 011-757-2407	厚別区 011-895-2442	南区 011-582-4723	手稲区 011-681-2445
東区 011-741-2429	豊平区 011-822-2427		

